

見附市立今町中学校 実践報告書【学校報告用】

(1) 事業名 ※事業名称がある場合	見附市立今町中学校 ふるさと新潟防災教育 事業
(2) 実践報告	
実践内容及び児童生徒の様子	10月6日(火)に原子力災害時の対応について、見附市役所企画調整課の大塚崇様より、講演を実施した。生徒は、放射線を計測する機器などを実際に触って計測したり、話を聴いたりすることで安全の確保について学んだ。11月18日(水)には、津波防災教室を防災担当の教諭高橋から、津波のメカニズムや発生時の避難方法等の講義を全校生徒に実施した。海水浴などのため海に行った場合、安全確認の大切さについて多くの生徒が感じた。
成果と今後の課題	原子力災害時の対応について、生徒は真剣に話を聴くことができた。生徒の感想では、放射線のイメージは怖いものであると感じていた生徒も、放射線は医療などの現場で使われており、命を守るときにも使われていることを認識できた。災害時には、外出しないことや出ている場合は、顔や手を洗い放射性物質を洗い流すことを理解できた。津波など、経験された方の講演を聴くことで生徒の心に響かせたい。
実践の様子	
	
↑ 放射線を理解するための画像資料	↑ 生徒は、真剣に話を聞いている
	← 放射線測定器により、現在の放射線量を計測